



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 株式会社タカチホ

上場取引所 東 名

コード番号 8225 URL <https://kk-takachiho.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）久保田 一臣

問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）寺島 千博 TEL 026-221-6677

半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無： 無

決算説明会開催の有無： 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,673	21.3	484	36.0	485	36.0	364	34.3
2025年3月期中間期	4,677	6.4	355	2.0	357	2.4	271	△4.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 374百万円（40.6％） 2025年3月期中間期 266百万円（△8.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	522.20	ー
2025年3月期中間期	421.08	ー

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期中間期	5,191	2,607	50.2	3,728.34
2025年3月期	4,288	2,253	52.6	3,238.76

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,607百万円 2025年3月期 2,253百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	0.00	ー	50.00	50.00
2026年3月期	ー	0.00			
2026年3月期（予想）			ー	80.00	80.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	9,200	7.8	460	5.2	450	3.1	315	2.1	452.64

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	727,500株	2025年3月期	727,500株
2026年3月期中間期	28,162株	2025年3月期	31,582株
2026年3月期中間期	697,280株	2025年3月期中間期	643,943株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(追加情報)	10
(中間連結貸借対照表に関する注記)	10
(中間連結損益計算書に関する注記)	10
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境が改善し、訪日外国人数も前年を上回るペースが続くなど、内需が底堅く推移しました。

一方で、原材料価格やエネルギーコストの高止まりおよび物価高騰、米国の通商政策による景気動向への影響、観光事業においては慢性的な労働力不足と人的コストの上昇など、先行きの不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなかで当社グループといたしましては、「革新－変革に向けた事業再構築－」をスローガンに掲げ、生産性向上のための人的投資、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化、組織力強化と業務の効率化による収益力強化に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,673百万円（前年同期比21.3%増）、営業利益は484百万円（前年同期比36.0%増）、経常利益は485百万円（前年同期比36.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は364百万円（前年同期比34.3%増）となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

①みやげ卸売事業

みやげ卸売事業は、ブランド力向上と商品開発への投資による販売強化をはかり、積極的な商品展開としてIPビジネスへの取り組みを行ったほか、特需として大阪・関西万博への商品供給などにより、売上高は4,777百万円（前年同期比32.7%増）となり、営業利益は530百万円（前年同期比38.8%増）となりました。

②みやげ小売事業

みやげ小売事業は、観光需要の緩やかな増加を受け順調に推移しましたが、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響により、売上高は368百万円（前年同期比27.1%減）となり、営業利益は38百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

③みやげ製造事業

みやげ製造事業は、物価上昇による原材料価格およびエネルギーコスト高止まりの影響を受けましたが、順調に価格転嫁が出来たこと、また、特需として大阪・関西万博への製品供給などにより、売上高は151百万円（前年同期比40.2%増）となり、営業利益は59百万円（前年同期比94.8%増）となりました。

④温浴施設事業

温浴施設事業は、熱波イベントやヨガ教室を積極的に開催し来客数は増加しましたが、水道光熱費等の上昇が上回り、売上高は151百万円（前年同期比2.9%増）となり、営業利益は13百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

⑤不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、長野市内の「ショッピングタウンあおぞら」のテナント管理を中心に営んでおります。景気の拡大によりテナントの入居は安定推移し、賃料収入は73百万円（前年同期比1.2%減）となり、営業利益は25百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

⑥アウトドア用品事業

アウトドア用品事業は、一部店舗の賃借契約満了による閉店の影響があったものの、需要に合わせ商品構成を見直し値引き販売を抑えた結果、売上高は123百万円（前年同期比41.3%減）となり、営業利益は3百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となりました。

⑦その他事業

その他事業は、飲食店の運営が含まれます。テイクアウト商品の取り扱いを終了したほか、原材料価格およびエネルギーコスト高止まりから価格改定したものの来客数が減少し、売上高は27百万円（前年同期比9.7%減）となり、営業利益は1百万円（前年同期比66.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,141百万円となり、前連結会計年度末に比べ950百万円(43.4%)増加いたしました。これは主に現金及び預金が424百万円、受取手形及び売掛金が520百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ47百万円(2.3%)減少いたしました。これは主に投資その他の資産が34百万円、有形固定資産が7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は5,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ902百万円(21.0%)増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,694百万円となり、前連結会計年度末に比べ682百万円(67.4%)増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が88百万円、短期借入金が500百万円増加したことによるものであります。固定負債は889百万円となり、前連結会計年度末に比べ132百万円(13.0%)減少いたしました。これは主に長期借入金が128百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,583百万円となり、前連結会計年度末に比べ549百万円(27.0%)増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,607百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円(15.7%)増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益364百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は50.23%(前連結会計年度末は52.56%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月13日開示の2025年3月期決算発表時と変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	929,651	1,354,627
受取手形及び売掛金	714,905	1,235,139
商品及び製品	436,536	460,848
原材料及び貯蔵品	52,557	51,310
その他	59,054	40,347
貸倒引当金	△1,241	△700
流動資産合計	2,191,464	3,141,572
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	522,432	517,753
土地	902,820	902,820
その他（純額）	97,093	94,294
有形固定資産合計	1,522,345	1,514,868
無形固定資産	147,082	141,290
投資その他の資産		
敷金及び保証金	92,189	85,073
その他	344,554	316,897
貸倒引当金	△9,036	△8,528
投資その他の資産合計	427,707	393,442
固定資産合計	2,097,135	2,049,602
資産合計	4,288,600	5,191,175
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	421,022	509,286
短期借入金	257,244	757,244
未払法人税等	46,730	94,199
賞与引当金	55,318	64,688
契約負債	13,346	12,962
その他	218,981	256,300
流動負債合計	1,012,643	1,694,681
固定負債		
長期借入金	717,069	588,392
資産除去債務	97,545	98,250
その他	207,431	202,481
固定負債合計	1,022,045	889,123
負債合計	2,034,688	2,583,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	747,563	755,177
利益剰余金	553,491	882,817
自己株式	△62,002	△55,549
株主資本合計	2,239,052	2,582,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,858	24,924
その他の包括利益累計額合計	14,858	24,924
純資産合計	2,253,911	2,607,370
負債純資産合計	4,288,600	5,191,175

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	4,677,005	5,673,115
売上原価	3,343,001	3,977,714
売上総利益	1,334,004	1,695,401
販売費及び一般管理費	978,028	1,211,376
営業利益	355,975	484,024
営業外収益		
受取利息	40	190
受取配当金	557	997
受取事務手数料	328	216
受取手数料	2,464	2,335
その他	2,298	1,680
営業外収益合計	5,689	5,420
営業外費用		
支払利息	3,997	3,193
その他	419	417
営業外費用合計	4,416	3,610
経常利益	357,248	485,834
特別損失		
固定資産除却損	80	72
特別損失合計	80	72
税金等調整前中間純利益	357,168	485,762
法人税、住民税及び事業税	64,750	83,995
法人税等調整額	21,267	37,644
法人税等合計	86,018	121,639
中間純利益	271,149	364,122
親会社株主に帰属する中間純利益	271,149	364,122

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	271,149	364,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,990	10,065
その他の包括利益合計	△4,990	10,065
中間包括利益	266,159	374,188
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	266,159	374,188
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	357,168	485,762
減価償却費	39,930	44,572
固定資産除却損	80	72
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19	△1,049
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,618	9,369
契約負債の増減額 (△は減少)	722	△383
受取利息及び受取配当金	△598	△1,188
支払利息	3,997	3,193
売上債権の増減額 (△は増加)	△273,637	△520,232
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△51,048	△23,065
仕入債務の増減額 (△は減少)	77,651	88,263
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△279	24,747
前受金の増減額 (△は減少)	△4,665	△4,679
その他の資産の増減額 (△は増加)	△2,430	25,693
その他の負債の増減額 (△は減少)	△52,169	12,001
その他	17,007	8,220
小計	113,367	151,296
利息及び配当金の受取額	624	1,188
利息の支払額	△3,940	△3,078
法人税等の支払額	△37,789	△37,512
法人税等の還付額	424	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,686	111,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△26,973	△30,570
無形固定資産の取得による支出	△68,261	—
敷金及び保証金の差入による支出	△140	△195
敷金保証金の回収による収入	—	7,725
その他	—	△140
投資活動によるキャッシュ・フロー	△95,375	△23,180

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,800,000	1,900,000
短期借入金の返済による支出	△1,300,000	△1,400,000
長期借入れによる収入	689	461
長期借入金の返済による支出	△167,070	△129,138
自己株式の取得による支出	△393	△674
配当金の支払額	△25,397	△34,385
財務活動によるキャッシュ・フロー	307,827	336,262
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	285,138	424,975
現金及び現金同等物の期首残高	834,674	929,651
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,119,813	1,354,627

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(中間連結貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結損益計算書に関する注記)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
貸倒引当金繰入額	19千円	△1,049千円
給与賞与	324,998	382,049
賞与引当金繰入額	49,379	59,322
退職給付費用	7,649	7,738

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	1,119,813千円	1,354,627千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—	—
現金及び現金同等物	1,119,813	1,354,627

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	3,601,331	505,151	108,300	147,381	—	210,929	4,573,095	29,975	4,603,071	—	4,603,071
その他の収益	—	—	—	—	73,934	—	73,934	—	73,934	—	73,934
外部顧客への 売上高	3,601,331	505,151	108,300	147,381	73,934	210,929	4,647,029	29,975	4,677,005	—	4,677,005
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	38,642	—	140,131	—	14,400	—	193,174	79,548	272,722	△272,722	—
計	3,639,974	505,151	248,432	147,381	88,334	210,929	4,840,204	109,523	4,949,728	△272,722	4,677,005
セグメント利益 又は損失 (△)	382,121	60,502	30,622	15,127	24,279	△2,255	510,397	3,037	513,435	△157,459	355,975

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	みやげ 卸売事業	みやげ 小売事業	みやげ 製造事業	温浴 施設事業	不動産 賃貸事業	アウトドア 用品事業	計				
売上高											
顧客との契約か ら生じる収益	4,777,533	368,259	151,795	151,608	—	123,784	5,572,981	27,067	5,600,048	—	5,600,048
その他の収益	—	—	—	—	73,066	—	73,066	—	73,066	—	73,066
外部顧客への 売上高	4,777,533	368,259	151,795	151,608	73,066	123,784	5,646,048	27,067	5,673,115	—	5,673,115
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	25,291	—	206,667	—	14,400	—	246,359	73,280	319,640	△319,640	—
計	4,802,824	368,259	358,463	151,608	87,466	123,784	5,892,407	100,347	5,992,755	△319,640	5,673,115
セグメント利益 又は損失 (△)	530,535	38,782	59,658	13,584	25,298	3,846	671,706	1,033	672,740	△188,715	484,024

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。